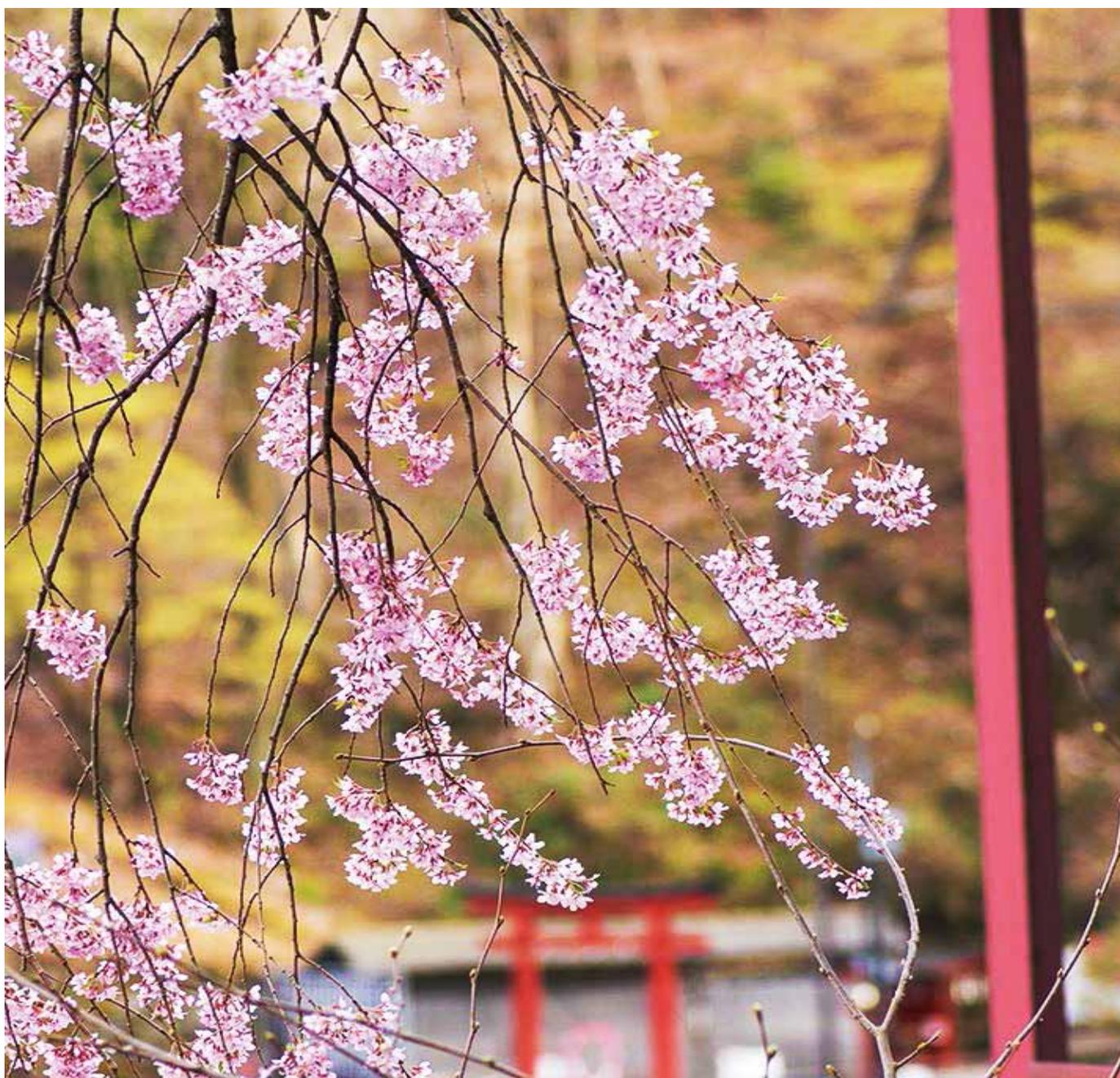


こころ

2022  
春号  
Vol.56

～夢と希望と安らぎ、きらめく光に包まれて～



## 令和3年度 委員会活動報告

### 感染・褥瘡予防対策委員会

委員長 柳瀬美代子

感染予防対策委員会は、「感染対策を行い、施設内感染発生防止ができる」を目標に活動してきました。結果的には新型コロナウイルス第5波時、入居者様数名の感染が発生してしまい目標が達成できませんでした。その他の施設内感染症は発生しませんでした。新型コロナウイルスの感染者が発生した際は、保健所、他病院医師の指導を受け施設全体で感染予防及び拡大防止に努めました。また、新たに新型コロナウイルスの対策マニュアルを作成し、勉強会も開催しました。その他にも、施設内の環境整備についての勉強会を開催しました。コロナ禍はまだしばらく続くと思えます。今後も施設全体で感染防止に努めていきます。

褥瘡予防対策委員会は「各書類の管理ができる」を目標にしました。褥瘡に関する書類は4種類あります。1種類は各入居者様の入居時に作成しています。他3種類は褥瘡発生者に必要な書類です。今年度は入居時持ち込みを含め9名の褥瘡者がいました。担当看護師と連携し書類管理を行いました。勉強会は3月に開催予定です。褥瘡は、早期発見と対処が重要です。来年度も今年度同様、日頃の入居者様の状態観察をしっかりとこない、早めの対応をしていきます。

### 身体拘束廃止委員会

委員長 品田直樹

今年度は「一人一人がケアや声掛けを見直す」ということを目標に掲げて活動をしてきました。委員会では毎回、各部署ごとに状況報告を行っており、そこで発表された内容を委員全員で考え、より良いケアに繋がるよう努めています。また、9月の勉強会では「虐待の芽チェックリスト」を配布し、ほとんどの職員に実施してもらい施設内虐待防止について再認識しました。2月には村下望先生より高齢者虐待防止、身体拘束廃止についてオンライン講演を行いました。これからも入居者様・利用者様がより一層安心して過ごせるよう、活動を行ってまいります。

### 事故防止対策・記録・入浴委員会

委員長 森 眞

今年度の事故防止対策・記録・入浴委員会としての活動は、年に2回のヒヤリ・ハット月間、年に2回の勉強会、居住環境・危険箇所の見直し、新任スタッフ向けの介護用語集作成を行いました。昨年度の反省として誤薬の事故が多くなってしまったことがあり、誤薬防止意識チェックや毎月の誤薬事件事例の徹底周知なども行いました。

各委員の方の活動により、前年度と比べ総事故件数を減らすことができました。

今後も事故を事前に防ぐという意識を高く持ち、さらに事故を減らせるよう、活動していきたいと思えます。

### レク・広報委員会

委員長 盛川哲臣

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響があり、毎年恒例の春の花見会や夏祭りは残念ながら中止させていただきました。しかし、コロナの感染状況をみながら時間短縮、感染対策徹底のもと、ボランティアの方々をお招きし、少しずつレクリエーションを開催する事が出来ました。7月、11月と大垣女子短期大学音楽療法科の方々をお招きし「音楽祭」と題して歌、音楽を楽しんでいただきました。12月は聖はじめ様、ベリーダンサーの方々をお招きし、豪華な歌謡ショーを楽しんで頂きました。今後もコロナの感染状況を見ながらの活動となるため限定的になるかと思えますが、ご利用者の日常生活にいい刺激が得られるよう取り組んでいきます。



## 介護 まめ知識



# 「褥瘡って何？」

「床ずれ」「寝だこ」「褥瘡」いろいろ呼び方はありますが、長い時間同じ体位で寝ていたり、車椅子に座っていたりすると同じ部位が圧迫されて皮膚が赤くなり、水ぶくれができ、皮がむけてきたりと「褥瘡」ができてしまいます。早期なら、フィルム材で保護しておけば悪化せずすむ場合もありますが 放置しておくともどんどん悪くなってしまいます。「エアマットを使っているから大丈夫！」「自分でちょっとずつ動いてくれるから向きを変えなくてもいいわ」という思い込みは危険です。エアマットも頼りすぎはいけません。病院のように数時間毎とは言いませんがオムツを換えるときにお尻も確認し、向きを変えるようにしてください。やはり人の手で向きを変えたり起こしたりすることがとても大切です。褥瘡ができてしまってからでは、本人様は痛いし 傷口もガーゼを変えたりしなければいけないのでケアも大変です。

◇床ずれができやすい部位◇

- 仙骨部(お尻の中心)
- 坐骨部(座ったときに当たる部分)
- 大転子部(横になったときに当たる腰の部分)
- 骨が出っ張っている部分(特にできやすいので注意が必要)

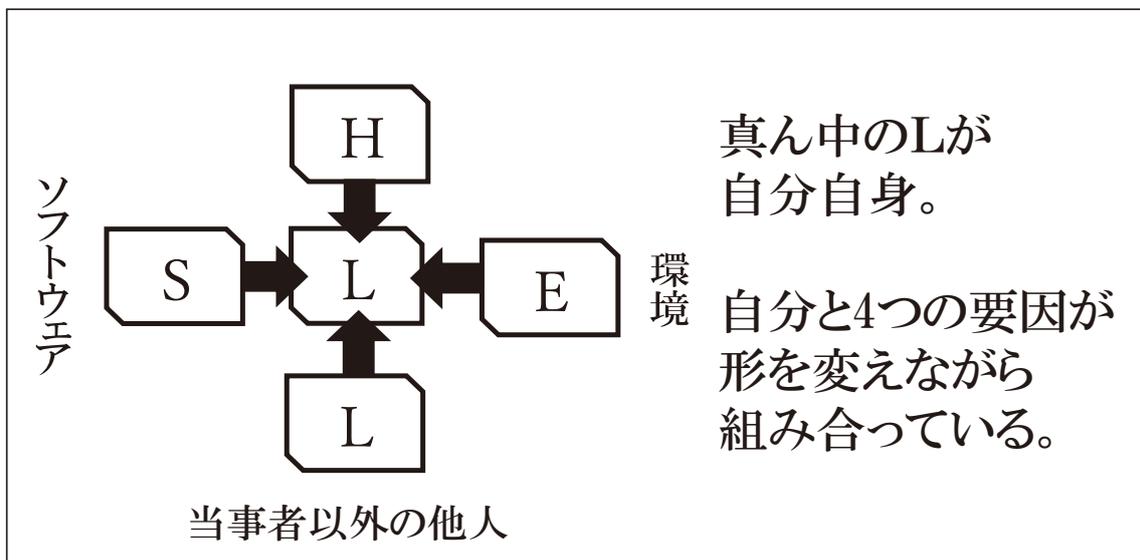


## 勉強会

～事故の原因分析及び再発防止の考え方～



「事故の原因分析及び再発防止の考え方」の勉強会がありました。勉強会では「SHELLモデル」を使用して事故を細かく分析する練習をしました。実際に例題の事故を「SHELLモデル」を使って、原因・要因・問題点を自分で出しその対策を考える練習をしました。事故はゼロになることはありません。対策をしっかりして最小限の事故に抑えられるような介護をしていきたいと思ひます。





## 初釜

新年恒例の清心苑初釜を開催いたしました。入居様を職員がお出迎えし、職員が点てたお抹茶と和菓子を振る舞いました。入居様からは「お抹茶が美味しい、この雰囲気がとても好きだわ」、「今年も健康で頑張らないとね」等々の入居様からも笑顔が見られとても楽しい時間を過ごされたようでした。今年も皆様良い年が過ごせる事を願って止みません。



## 節分



節分の日『豆まき』を行いました。各ユニットに表情豊かな赤鬼が登場！入居様たちは、無病息災を願い、新聞紙で作った玉を一生懸命投げていました。コロナ禍で面会や外出が難しい中、少しでも季節を感じ取ったり、楽しんでいただけたらと思い開催しました。たくさんの素敵な笑顔が見られて良かったです。皆様にも福が訪れますように…



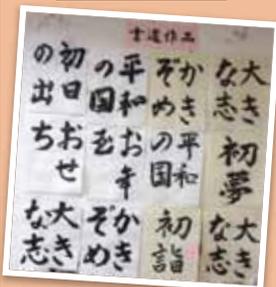
## ユニットレク

北上町1・2丁目では、さまざまなレクリエーションをおこなっています。最近では、居酒屋レク、雛祭りを開催しました。居酒屋レクでは、雰囲気を味わってもらえるよう、カウンターテーブルや暖簾、メニュー表などを作成し、居酒屋気分を楽しんでいただきました。雛祭りでは、シフォンケーキをデコレーションして召し上がって頂きました。「美味しかった！」と、たくさんの笑顔を見ることができました。



## デイサービスセンター 夢の郷

書初め



## 初釜&新年会



絵馬に抱負を!

## 養老ショートステイ

養老ショートステイでは、毎月、利用者様が笑顔で元気になるようなレクリエーションを計画し楽しんでいただいております。12月はクリスマス会を、1月は書初めを、2月は豆まきを行いました。



# 清心会 トピックス

## 社会福祉法人 清心会 入社式



令和4年度の入社式を行いました。理事長から辞令が交付された後、各ユニットの紹介や、研修等を行いました。

## 「3回目のコロナワクチン接種」

希望する入居者様、職員に3回目のコロナワクチン接種を実施しました。清心苑内の地域交流ホールを使用しての一斉実施は3回目だったため、準備・対応等に慣れ、スムーズに接種を終えることができました。



## 編集後記

いつも広報誌「こころ」をご清覧いただきありがとうございます。皆さまいかがお過ごしでしょうか。今年は例年と比べて、雪の多い冬になりましたね。清心苑でも除雪が間に合わず、スタッフが出勤出来なかったり、駐車場から出庫出来ないという事態も起こりました。

さて、コロナワクチンの3回目の接種が始まりました。清心会では2月に、希望する入居者様とスタッフへの接種を完了しました。出口の見えないコロナ禍が続いていますが、体調を崩されませんよう、皆さまご自愛ください。

ホームページも開設しています。  
是非、ご覧下さい。  
「大垣市 清心苑」で検索して下さい。

特別養護老人ホーム 清心苑 短期入所生活介護施設 清心苑ショートステイ  
〒503-2223 岐阜県大垣市矢道町1丁目303番地  
TEL 0584-93-0510(代) FAX 0584-93-0585 フリーダイヤル 0120-35-7510



## 『寄付・寄贈品』

令和3年11月 金参萬円  
令和3年12月 金貳萬円  
令和4年3月 金壹萬円

ありがとうございます。

## 4月 花見会

コロナウイルスの感染状況に応じて、開催するか判断致します。

## 5月 運動会

コロナウイルスの感染状況に応じて、開催するか判断致します。

## 6月 未定

コロナウイルスの感染状況に応じて、開催するか判断致します。